

泉井久之助 いづみ のりすけ 言語學者、文學博士。明治二十八年七月一日大阪  
生れ（一九〇五）。號禮泉子。昭和二年京都市帝國大學文學部言語學科卒。  
京大教授、京都産業大學教授歴任。

譯著書、タキトウス著『新版ゲルマーニヤ』（田中秀央共譯、昭和十六  
年六月十五日江書院。再刊『ゲルマーニヤ』二十二年十一月十五日  
創元社）、二十八年四月、二十五年岩波書店「岩波文庫」、單獨改訳・五  
十四年四月十六日岩波書店「岩波文庫」、『言語構造論』（昭和一  
十一年十月、二十五年創元社）、『南蛮星』（昭和二十二年三月、二十  
京都・高桐書院）、『リヤリズムと散文の問題』（合著・人文科學委  
員會編、昭和二十四年五月十五日東京文學社「人文科學叢書」）、『古  
典と現代』（昭和二十四年六月五日京都・甲文社出版部）、『二高八  
十年の回顧』（合著・大浦八郎編、昭和二十五年四月、白鷺書院）、  
キヤロー著『義務のしくみ』（訳、昭和二十六年七月、二十五年岩波書  
店「岩波文庫」）、『ローロツパの言語』（昭和四十三年十一月、二十  
白岩波書店「岩波新書」）、ウエルギリウス作『ヤエネーイタ』全一  
冊（上・昭和五十一年一月十六日、下・二月十六日岩波書店「岩波文  
庫」）、『言語研究とフンボルト』思想・実践・言語（昭和五十  
一年十一月十日弘文堂）等。

